JIS

手動式トルクツールの要求事項及び試験方法

JIS B 4652 : 2008

(JMIF/JSA)

平成 20 年 4 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 園 成 夫	東京電機大学
(委員)	相 羽 繁 生	社団法人日本ばね工業会
	石 丸 尋 士	社団法人自動車技術会
	大 山 忠 一	社団法人日本バルブ工業会
	桑 田 浩 志	財団法人日本規格協会
	小 林 正 彦	社団法人日本工作機械工業会
	手 塚 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 橋 勝 良	社団法人日本ベアリング工業会
	飛弾野 文 英	日本工具工業会
	丸 山 一 男	東京工業大学
	望 月 正 紀	社団法人日本ねじ工業協会
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.4.20

官 報 公 示：平成 20.4.21

原 案 作 成 者：社団法人日本計量機器工業連合会

(〒162-0837 東京都新宿区納戸町 25-1 TEL 03-3268-2121)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	3
5 要求事項	3
5.1 設計適合試験	3
5.2 品質適合試験	5
5.3 再校正	5
6 校正	5
6.1 校正装置	5
6.2 校正温度	5
6.3 校正条件	5
6.4 校正手順	8
6.5 校正例	8
7 表示	10
附属書 A (規定) 指示式トルクツール：タイプ I	11
附属書 B (規定) プリセット式トルクツール：タイプ II	13
附属書 C (参考) 参考文献	15
附属書 JA (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	16
解 説	17

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本計量機器工業連合会(JMIF)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 4650:2002** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

手動式トルクツールの要求事項及び試験方法

Hand torque tools—Requirements and test methods

序文

この規格は、2003年に第3版として発行されたISO 6789を基に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目（引用規格 JIS Z 8103）を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書 JA に示す。

1 適用範囲

この規格は、ねじ締結体の締付け管理に使われる手動式トルクツール（以下、トルクツールという。）の要求事項、試験方法及び表示について規定する。

この規格は箇条 4 のトルクツールに、特に ISO 1703:1983, “Assembly tools for screws and nuts—Nomenclature” の No.258 及び 259 に従った指示式及びプリセット式のトルクレンチに適用できる。

注記 1 この規格は、トルクツールの要求事項及び試験方法について規定するものであるが、それらにかかわる規定は、品質管理の目標値のために示すものであり、この規格によって適合性評価を行うことは、意図していない。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6789:2003, Assembly tools for screws and nuts—Hand torque tools—Requirements and test methods for design conformance testing, quality conformance testing and recalibration procedure (MOD)

なお、対応の程度を表す記号(MOD)は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、修正していることを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 8103 計測用語

Guide to the expression of uncertainty in measurement (GUM)

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS Z 8103** によるほか、次による。